発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

東京都大田区山王1丁目 2 8 - 1 0	出願人代理人 石田 政久 様 あて名 〒 143-0023	24.8.18 石田特許 事務所 PCT 国際調査機関の見解告
田願人又は代理人 の審頼記号 BMT-HMS3-PCT 国際出願番号 PCT/JP2004/010013 国際出願日 (日.月.年) 14.07.2004 (毎.月.年) 18.07.2003 国際出願番号 PCT/JP2004/010013 (日.月.年) 14.07.2004 (日.月.年) 18.07.2003 国際特許分類(IPC) I'nt.Cl' A42B3/28 出願人(氏名又は名称) ビルマテル株式会社 1. この見解書は次の内容を含む。 ※ 第1欄 知規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第1個 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第1V欄 発明の単一性の欠如 ※ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第1V欄 おる種の引用文献 第1V欄 国際出願の不備 第1V欄 国際出願の不備 第1V欄 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関とは異なる国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅、満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。		(法施行規則第40条の2)
の審類配号 BMT-HMS3-PCT 国際出願番号 PCT/JP2004/010013 国際出願日 (日.月.年) 14.07.2004 (日.月.年) 18.07.2003 国際特許分類(IPC) Int. Cl' A 4.2 B 3 / 2 8 出願人(氏名又は名称) ビルマテル株式会社 1. この見解書は次の内容を含む。 ※ 第 I欄 見解の基礎 第 II 欄 優先権 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第 II 欄 新規性。次方との文型 第 V欄 PC T規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 IV欄 起際出顧の不備 第 第 IV欄 国際出顧に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPC T規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか選く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。		^{発送日} (日. 月. 年) 17. 8. 2004
PCT/JP2004/010013 (日.月.年) 14.07.2004 (日.月.年) 18.07.2003 国際特許分類(IPC) I'nt. Cl' A42B3/28 出願人(氏名又は名称) ビルマテル株式会社 1. この見解書は次の内容を含む。 図 第 I 欄 見解の基礎		今後の手続きについては、下記2を参照すること。
出願人(氏名又は名称) ビルマテル株式会社 1. この見解書は次の内容を含む。 ② 第 I 欄 見解の基礎 ③ 第 I 欄 免先権 ③ 第 I 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第 I 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 ② 第 V 欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 ③ 第 V 欄 B際出顧の不備 ③ 第 V 欄 国際出顧の不備 ③ 第 V 欄 国際出顧に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関の見解審とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。		
アンマテル株式会社	国際特許分類 (IPC) Int. Cl' A42B3/28	
 ※ 第 I 欄 見解の基礎 第 II 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 務規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 ※ \$ V 欄 P C T 規則43の2.1(a) (i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 VI欄 国際出願の不備 第 IV 欄 国際出願の不備 第 IV 欄 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がP C T 規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式P C T / I S A / 2 2 0 を送付した日から3月又は優先日から2 2 月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式P C T / I S A / 2 2 0 を参照すること。 		
それを裏付けるための文献及び説明 第VI欄 ある種の引用文献 第VI欄 国際出願の不備 第VI欄 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。	※ 第 I 欄 見解の基礎第 II 欄 優先権第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能	8性についての見解の不作成
第四欄 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。	それを裏付けるための文献及び説明 第VI欄 ある種の引用文献	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。		
ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。	国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて	国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ
	ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する	期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当

見解書を作成した日
29.07.2004

名称及びあて先
日本国特許庁 (ISA/JP)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)
今村 亘
電話番号 03-3581-1101 内線 6243

第1欄 見解の基礎			
1. この見解書は、下記に示	です場合を除くほか、国際出願の言	言語を基礎として作成された。	
この見解書は、		を基礎として作成した。 び23.1(b)にいう翻訳文の言語	歩 でなる
-C4 VIA (2007)	Membrane Canada Cara	(C.C.), (C), (C) / MANY (C)	百くの心。
2. この国際出願で開示され 以下に基づき見解書を作	ルかつ請求の範囲に係る発明に不同 『成した。	可欠なヌクレオチド又はアミノ	ノ酸配列に関して、
a. タイプ	配列表		
	配列表に関連するテーブル		
b. フォーマット	小小		
D. / /# - Y /	音画 コンピュータ読み取り可能な形		
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる この国際出願と共にコンピュー	2年7 時の司告が形式により	相印をアグ
	出願後に、調査のために、この		佐田された
	LARGE CA. 1-1 Propose	ELL DAY HAR THE NATION I - SAFE LINE AND INC.	
3. さらに、配列表又は た配列が出願時に提	配列表に関連するテーブルを提出 出した配列と同一である旨、又は	はした場合に、出願後に提出し ナー出願時の関示を超える事項	」 た配列若しくは追加して提出し を今まかい旨の随途事の提出が
あった。	THE OVERLY SELECTION OF SELECTION	W. Hawardandura every a 4 3	≰©口中,94. 日△2026年 A260年
 4. 補足意見:			
**・ TTI AC AS プレ			

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/010013

見解									
新規性(N)		請求の範囲		· ·		•	·	٠	有
		請求の範囲	• .		1-10		٠, .		無
								:	
進歩性(IS)		請求の範囲	·.		• .				有
		請求の範囲			1-10				. 無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲		· · · ·	1-10	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· .	有	
		請求の範囲							- 弁

2. 文献及び説明

文献1: J P 2001-3220 A (株式会社谷沢製作所) 2001.1.9 (ファミリーなし)

請求の範囲1-10に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1から新規性を有さない。請求の範囲1に記載された庇部の上端を外側から覆う軒部によって庇部の通風口が形成された点は、文献1の【0007】に開示されている。

また、後部に設けられた通気口については、【0008】に、【0014】の帽体主部材は、カバーの内面に位置することから、インナープレートに相当するものであると認める。請求の範囲10の開口周縁に立設された堰については、第4図参照。